

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	社会学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1学年		学期及び曜時限	前期	教室名	202,203
担 当 教 員	藤田 悟	実務経験と その関連資格	博士(社会学)			
《科目目標》						
社会の基盤をなす一人ひとりの人間の生活・暮らしに関心を向け、患者や住民の生活を援助することの重要性を理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
【評価方法】終講試験100% 【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
ナーシンググラフィカ 健康支援と社会保障①健康と社会・生活 メディカ出版						
《授業外における学習方法》						
授業時に配布するプリント、教科書の復習						
《履修に当たっての留意点》						
本科目は、社会のしくみ、生活とは何か、社会の中での家族、集団、組織とはなにかを学び、社会の基盤をなす一人ひとりの人間の生活・暮らしを理解することを通じて、患者や住民の生活を援助することの重要性を学習する。社会福祉、社会保障制度、地域包括ケアの学習の基盤となる科目として学んでほしい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会学的な視点を理解する	テキスト パソコン プロジェクター		
		各コマにおける授業予定	科目に関するガイダンス 社会学的な視点			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会学のはじまりを理解する	テキスト パソコン プロジェクター		
		各コマにおける授業予定	社会学のはじまり			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会学の方法を理解する	テキスト パソコン プロジェクター		
		各コマにおける授業予定	社会学の方法①			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会学の方法を理解する	テキスト パソコン プロジェクター		
		各コマにおける授業予定	社会学の方法②			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	家族について理解する	テキスト パソコン プロジェクター		
		各コマにおける授業予定	家族とは何か①			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	家族について理解する	テキスト パソコン プロジェクター	
		各コマにおける授業予定	家族とは何か②		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	フェミニズムとジェンダーについて理解する	テキスト(地域療養を支えるケア) パソコン プロジェクター	
		各コマにおける授業予定	フェミニズムとジェンダー①		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	フェミニズムとジェンダーについて理解する	テキスト パソコン プロジェクター	
		各コマにおける授業予定	フェミニズムとジェンダー②		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	家族の問題を理解する	テキスト パソコン プロジェクター	
		各コマにおける授業予定	家族をめぐる問題①		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	家族の問題を理解する	テキスト パソコン プロジェクター	
		各コマにおける授業予定	家族をめぐる問題②		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本の社会について理解する	テキスト パソコン プロジェクター	
		各コマにおける授業予定	少子高齢化		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	家族の形成	テキスト パソコン プロジェクター	
		各コマにおける授業予定	1) 社会的ネットワークとその意義 2) 地域集団の諸相 3) コミュニティ形成とその課題		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	国際社会(グローバル化)について理解する	テキスト パソコン プロジェクター	
		各コマにおける授業予定	1) 現代の国際社会 2) グローバリゼーションの概念と影響 3) TPPや外国人労働者		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	科学から捉えた健康行動	テキスト パソコン プロジェクター	
		各コマにおける授業予定	1) 行動科学とは 2) 危険因子から幸福因子探しへ 3) 集団の中での人の行動特性 4) 小集団の機能と効果・集団の発展過程		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ・終講試験		
		各コマにおける授業予定	まとめ・終講試験		